

D-4 腸重積とソフトシェルが認められた2例

ホシガメ ♀ *Chelodina* spp.

写真 1



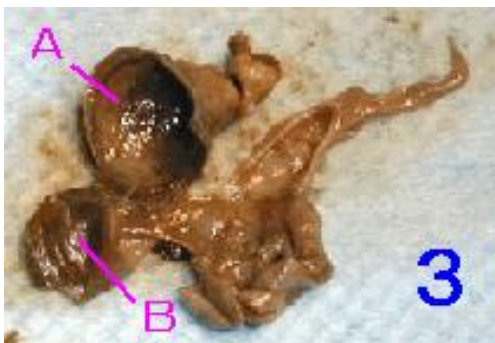
ホシガメ ♀
Geochelone elegans

写真 2



腹甲を除去すると、泥状になった大量の尿酸が膀胱に蓄積していました
(白い部分)

写真 3



結腸の一部が肥厚し、硬くなり、漏斗状になっている部分がありました。

Aの部分にB部分が入り込み腸重積を起こしていたため、組織が変性したようです。ここまで変性するのにどれだけの時間がかかるのかはわかりませんが、この個体の削瘦状態からみるとかなり長期間拒食していたのだらうと思います。

写真 4



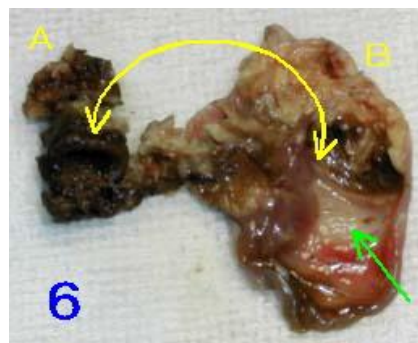
甲羅はべこべこしており、ソフトシェルになっていました。

写真 5



結腸の一部で硬くなっていた部分を取り出しています。

写真 6



開いてみると、A 黒色部分が B 部分に入り込んで腸重積を起こしていました。緑矢印の白っぽい所は、裏が透けるほど腸粘膜が薄くなっています。重積瘤入部が押し当てられていたからでしょうか。

写真 7



重積を起こして入り込んでいた黒色部分に付着していた便などを洗い落とし、再び重積状態の位置に戻して再現してみました。瘤入していた黒色部は実際には白い組織でした。確かに腸の一部なのですが、他の腸とは色も触感も異なり、組織変性が進んでいることが感じられました。